

平成 22 年度第 1 回（第 190 回）備中地区司書部会議事録

日時：平成 22 年 4 月 23 日（金） 10:00～16:00

場所：岡山県立倉敷中央高校

司会：望月司書（県立玉島）

記録：金地司書（倉敷青陵）

出席：20 名

1.開会

2.自己紹介

各自、所属と名前、司書歴を述べる。

3.協議事項

1)平成 21 年度備中地区司書部会活動報告・年度末に実施したアンケートのまとめ
10 月 1 日は半年契約の区切りなどがあるので、研修は行わない方が良い

2)平成 21 年度決算報告

残金が増えてきたので、計画的な予算消化が必要

3)平成 22 年度役員確認

◆備中地区司書部会の世話役と会計、HP 担当の確認

◆SLA 司書部会理事会の理事について

①坂口司書（前倉敷古城池司書）の後任・・・大西司書（倉敷商業）

【備中地区司書部会世話役を近藤司書（倉敷古城池）が引き継ぐ】

②朝倉司書（倉敷天城）の後任・・・原司書（倉敷南）

◆HP 担当について、岡山県学校図書館司書部会の HP を作り、その中に三支部のページを作る案も・・・詳細は午後キャリア研修にて

4)平成 22 年度発表担当校・活動予定の確認

7 月 30 日に行われる平成 22 年度岡山県学校司書研究協議会（岡山大会）の申し込みにについての案内が行われた

5)平成 22 年度予算案

4.研修

1)グループ研修

小・中学校と同じテーマ設定にする／倉敷大会でワークショップを行うといった意見の中、今年度は大きく二つのテーマを設定した

- ①授業との連携（正規司書などを中心に）
- ②環境整備（臨時司書を中心に、当番の班が研修の企画・準備を行う）

2)資料研究「わたしのすすめるこの一冊」

テーマは「部活応援本」「ココロをケアする本」またはフリーテーマ
次回のテーマは「オリエンテーションで使えた本・好評だった本」「読書感想文に
おすすめの本」とフリーテーマに決定

5.連絡・その他

1)サポート校について

備中地区の組み合わせ発表が行われた
蔵書管理システムに限らず、業務全般について相談を行う

2) 学校図書館基本情報アンケートの作成

平成 22 年度岡山県学校図書館部会司書部会第 1 回合同研修会

日時：平成 22 年 4 月 23 日（金） 13:00～16:00

場所：岡山県立倉敷中央高校

司会：大西司書（倉敷商業）

記録：金地司書（倉敷青陵）

：小野司書（清心女子）

6. 初任者研修／キャリア研修

【キャリア研修】

- ・コンセプトシートの発表

くじで7つのグループに分かれ、当たりを引いた人が進行役となった。

グループ内で1人3分ずつプレゼンをし、その後2分で質問をした。

最後にグループ内で5分感想をまとめ、発表者を決めて、それぞれ3分で全体に向けて発表した。

最後に、コンセプトシートは書くことが目的ではなく、年度始めに自校図書館のイメージを再確認することが大切で、時々見直してそれぞれの運営にいかしてほしいとのコメントがあった。

- ・ネットワーク研究会より

サポート校の学校組み合わせの見直しを検討し（瀬戸と東岡工は入れ替え）、
今後は相談業務を試行していきたいとのこと。また相互貸借についても、学校側
の情報管理の面も考慮しながら検討を進めていくことになった。

・授業との連携

それぞれの支部で21年度研修内容の現状報告を行なった。備前は3つのグループ
に分かれて研修してきたが、司書だけの活動にせず、先生との連携が重要だと発表
された。備中は授業との連携に関連づけるよう普段から意識すること、美作は教科と
の連携を視野に入れて今後の研修を進めていくことを確認した。

【初任者研修】

- 1)司書部会と組織／一年間の流れについての口頭説明
- 2)テーブルごとに3班に分かれ、説明及び意見交換
- 3)パワーポイントを使って、他校のコーナー展示や図書館レイアウトの紹介、持参されたポップの見学
- 4)ブックコート実習、その他情報交換

7. 総括

井原高校南校地の妹尾司書より、学校図書館司書としての意識の持ち方をご経験から
話された。小さな情報でもこまめに発信し、生徒の生きる力をつけるための手伝いが
できる司書になればという内容だった。

8. 報告・諸連絡

- ・学校図書館支援用図書を選定委員会より報告（理大附属：福森司書）
- ・メーリングリストの新規登録について（岡山南：岡本司書）
- ・小説リレーの参加呼びかけ（就実：原田司書）

9. 情報交換（フリートーク）

サポート校の学校組み合わせのペアでグループをつくり、情報交換を行なった。

10. 閉会

今回の研修のアンケートを提出して、閉会となった。